

西暦	和暦	長岡の出来事	日本の出来事	世界の出来事
原始	一六、〇〇〇年前 五、〇〇〇年前 三、〇〇〇年前 紀元前三世紀ころ 四世紀ころ	細石刃文化拡大(荒屋遺跡) 火焰土器誕生(馬高遺跡・岩野原遺跡) 東北地方から亀ヶ岡文化伝播(藤橋遺跡・朝日遺跡) 米づくり伝播(尾立遺跡) このころ、古墳が造営される	紀元 倭の奴国の使者印綬を受ける 邪馬台国女王卑弥呼が魏に遣使 二〇〇頃 第一回遣唐使 六三〇 乙巳の変 六四五 改新の詔 六四六	一〇〇頃 ローマの領域最大となる 五八九 隋、中国を統一 六一八 唐興る
古代	七世紀末ころ 七〇二 七二七 七二四 九二七 九二七 九六七 六四八 六八九 六九二	横滝山廃寺がこのころ造営 頸城・魚沼・古志・蒲原の四郡が越中国から越後国に編入 「沼垂城」と書かれた木簡が廃棄(八幡林遺跡) 『延喜式』に式内社古志郡六座が記載 『延喜式』に郡名「古志」「蒲原」確認 古志郡に大島荘・紙屋荘・志度野岐荘・白鳥荘・吉河荘・太田保・高波保などの荘園・国衙領を確認 鎌倉幕府を批判した罪で日蓮が寺泊を経て佐渡に配流 南北朝の両軍が蔵王堂などで激戦 世阿弥元清が寺泊を経て佐渡に配流 上杉謙信(長尾景虎)が栃尾城から春日山城に移動 御館の乱 上杉景勝、会津に移封	七九四 平安京に遷都 七一〇 平城京に遷都 一〇八六 白河上皇、院政をはじめる 一一九二 源頼朝、征夷大將軍となる 一一三四 建武の新政 一一三九 南北朝の合一 一四六七 応仁の乱はじまる 一五八二 本能寺の変 一五九〇 豊臣秀吉、全国統一完成	九六一 神聖ローマ帝国成立 一〇九六 第二回十字軍 一一〇六 チンギス・ハーン、モンゴルを統一 一二七五 マルコ・ポーロ、元に仕える 一四九二 コロンブス、アメリカに到達 一五一七 ルターの宗教改革 一五一九 マゼランの世界周航
中世	一五九八 一六〇五 一六一〇 一六一六 一六一八 一六四二 一六五一 一六五九 一六六七 一六七七 一六八一 一七〇四 一七〇六 一七〇六 一七二二 一七二二 一七二六 一七二七 一七二八 一七四三 一七五四 一七七二 一七七二 一七八一 一七八六 一七九〇 一七九二 一八〇一 一八〇四 一八〇八 一八二三 一八二八	長岡藩の知行高が七万四千石となる 蔵王権現社別当安禅寺、上野寛永寺末寺となる 長岡船道、幕府の認可取得 このころ、福島江完成 このころ、大坂屋三輪家、与板へ移住 武石村庄屋難波小右衛門、蔵米を窮民に分与した罪で斬首 妙法寺本堂前に黒門建立 牧野忠辰、高田藩主改易に際し、高田城受け取り 刈谷田川・猿橋川洪水 井伊直矩、初代井伊与板藩主となる 塚野山村大火、長谷川邸焼失 与茂七騒動 蔵王権現社、現金峯神社の地に移築 長谷川邸再建 住雲園築庭 長岡町大火(三蔵火事)発生 栃尾町の秋葉権現、遠江国の秋葉三尺坊と本末争い 長岡城本丸(三蔵火事で焼失)を再築 牧野忠辰に蒼柴大明神の神号を贈進 白山媛神社神殿・拝殿建立 悠久山に蒼柴大明神(牧野忠辰神号)社殿建立 幕府、脇野町代官所設置 このころ、栃尾織物発展の礎となる栃尾縞紬創始 岡村権左衛門騒動 第九代長岡藩主牧野忠精、老中に就任 与板藩主井伊直朗、城主格となる 木喰上人、真福寺に滞在し仁王尊など制作 長岡藩校崇徳館開校 与板城完成 文政の大地震発生	一六三七 島原の乱 一六〇〇 関ヶ原の戦い 一六〇三 徳川家康、征夷大將軍となる 一六一五 大坂夏の陣、豊臣氏滅亡 一六八七 生類憐れみの令 一七〇七 富士山宝永噴火 一七二六 享保の改革	一六〇〇 東インド会社設立
近世	一八二八	文政の大地震発生	一七八二 天明の飢饉 一七八七 寛政の改革	一八〇四 ナポレオン、帝位につく



## 主な参考文献（発行年順）

- 長谷川津藏 『創立五十周年記念号』 阪之上小学校五十周年祝賀会 大正十二年  
今泉鐸次郎 『河井継之助伝』 目黒書店 昭和六年  
長岡市役所 『長岡市史』 昭和六年  
今泉省三 『長岡の歴史』 全六巻 野島出版 昭和四十三〜四十七年  
新潟県立長岡中学校 『長岡中学読本』 新潟県立長岡高等学校同窓会 昭和五十一年  
小国町史編集委員会 『小国町史』 本文編 昭和五十一年  
新潟日報事業社 『新潟県大百科事典』 上・下巻 昭和五十二年  
栃尾市史編集委員会 『栃尾市史』 上・中・下巻 栃尾市役所 昭和五十二〜五十五年  
三島町史編集委員会 『三島町史』 上・下巻 三島町 昭和五十九年  
山古志村史編集委員会 『山古志村史』 通史 山古志村役場 昭和六十年  
川口町史編さん委員会 『川口町史』 川口町 昭和六十一年  
中之島村史編集委員会 『中之島村史』 上・下巻 中之島村 昭和六十一〜六十二年  
長岡市 『ふるさと長岡のあゆみ』 昭和六十一年  
北越戊辰戦争と長岡展示運営委員会 『北越戊辰戦争と長岡』 「北越戊辰戦争と長岡」 頒布会 平成元年  
栃尾市教育委員会 『栃尾と人物』 平成四年  
寺泊町 『寺泊町史』 通史編 上・下巻 平成四年  
長岡市史編集委員会 長岡市史双書No.34 『小林虎三郎の求志洞遺稿』 長岡市 平成七年  
長岡市史編集委員会 長岡市史双書No.35 『長岡懐旧雑誌』 長岡市 平成八年  
長岡市 『長岡市史』 通史編 上・下巻 平成八年  
中之島町 『歴史年表 中之島町』 平成八年  
和島村 『和島村史』 通史編 平成九年  
長岡市 『ふるさと長岡の人びと』 平成十年  
与板町 『与板町史』 通史編 上・下巻 平成十一年  
新潟県立歴史博物館 『新潟県立歴史博物館 常設展示図録』 平成十二年  
越路町 『越路町史』 通史編 上・下巻 平成十三年  
稲川明雄 『長岡藩』 現代書館 平成十六年  
長岡市 『長岡歴史事典』 平成十六年  
長岡市立中央図書館文書資料室 長岡市史双書No.44 『長岡城之面影』 長岡市 平成十七年  
与板町教育委員会 『与板のひとびと―与板の人物誌』 平成十七年  
長岡市 『長岡市政100年のあゆみ』 平成十八年  
長岡戦災資料館 『太平洋戦争と長岡空襲』 平成十八年  
統栃尾と人物編集委員会 『統 栃尾と人物』 平成十九年  
長岡市米百俵財団 『米百俵 その先の未来へ』 平成二十年  
長岡市 『郷土長岡を創った人びと』 平成二十一年  
豊川市桜ヶ丘ミュージアム 『三河に興りし牧野一族』 平成二十一年  
新潟県立歴史博物館 『越後の大名』 平成二十三年  
長岡市 『語りつぐ長岡空襲―長岡戦災資料館十周年記念誌―』 平成二十五年  
長岡市教育委員会 『長岡の文化財』 平成二十六年  
長岡市地域振興戦略部 『新長岡市10年の歩み』 平成二十七年

## 長岡開府四〇〇年のあゆみ ㊦

平成30年5月27日 発行

発行 長岡開府400年記念事業実行委員会  
(事務局：長岡市政策企画課開府400年記念事業推進室内)  
〒940-8501 新潟県長岡市大手通1-4-10  
電話 0258-35-1122 (代表)  
主管 長岡市教育委員会 (長岡市立中央図書館、長岡市立科学博物館)  
印刷 吉原印刷株式会社